

環境

活躍できる主な試験区分

機械

電気

応用化学

○1999年2月の「ごみ非常事態宣言」以降の大幅なごみ減量を達成する原動力となった市民・事業者との協働をベースに、市民・事業者・行政が共に学び、共に行動し、持続可能な循環型都市をめざした環境施策に取り組んでいます。

○ごみ処理に伴う環境負荷を低減するため、処理施設を安定的に運営するとともに、焼却灰の資源化や焼却余熱による発電効率の向上に取り組みつつ、老朽化が進む工場については、建替や設備更新、大規模改修などにより計画的な施設整備を行っています。



設備をリニューアルした富田工場



ごみ処理状況を監視する中央管制室



経歴
2010年4月～ 健康福祉局 健康部 環境薬務課 衛生指導係
2014年4月～ 環境局 環境企画部 環境企画課 施策推進係
2016年4月～ 環境局 施設部 五条川工場 焼却炉整備係
2017年4月～ 環境局 施設部 工場課 計画係
2018年4月～ 環境局 施設部 主査(新工場建設推進)



環境局施設部 主査
鈴木 正裕

最新のごみ焼却施設の運営を管理
社会に欠かせない縁の下の力持ち

●現在の仕事について教えてください。

2020年に完成した北名古屋工場は、可燃ごみに加えて不燃ごみや粗大ごみも溶融処理する、最新設備を備えたごみ焼却施設です。民間企業のノウハウなどを活用し、公共施設などの設計や維持管理・運営を行うPFI方式(Private Finance Initiative)を導入しているのが特徴で、民間企業が施設運営を行っています。

私の仕事は、民間企業が契約どおりに工場で処理しているか確認するなど、運営に関わる総合的な調整・管理となります。契約を遵守してもらうのは当然ですが、働いている民間企業の方は協力関係にある大切なパートナーです。困った時は、助け合いながら業務に取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

参事(部長級)以下6名のチームで仕事をしています。参事までの距離が近いので、意思決定が早く、非常にフットワークの軽い職場です。係員が直接参事と意見交換する機会も多い風通しの良い職場で、若い頃から様々な経験を積むことができます。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

ごみ処理は目立つ仕事ではありませんが、縁の下の力持ちとして社会を支えている誇りを持って働いています。市役所の仕事の面白さは、ひとつのこと追求するだけではなく、多くの業務も経験できること。技術者として、様々な業務にチャレンジしたい方にとってはやりがいのある仕事です。



環境局施設部工場課計画係 技師

宮戸 勇

ごみ処理施設の設備更新 未来への資産をつくり、美しいまちを守る

●現在の仕事について教えてください。

工場計画係では、ごみ焼却施設の建設場所の選定や関係部署との調整などを行っています。ごみ焼却施設の設備は20年程度で更新されることが多く、名古屋市港区にある南陽工場も稼働から20数年が経ち、設備更新の時期を迎えています。

私の仕事は、南陽工場設備更新工事の仕様書作成で、2026年の稼働を目指して計画を進めています。同工場は、建設当時、全国ベスト5に入るような処理能力を持つごみ焼却施設でしたが、近年はごみの量が減ってきていたため、処理能力を見直すこととしています。長く稼働する施設のため失敗は許されません。工場で働く職員からも意見を聞き、様々な角度から検討し仕様書を作成しています。

●職場の雰囲気について教えてください。

非常に気さくで話しやすい職員が多く、自由に意見を言い合える環境です。仕様書を作成する際にも多くの職員と相談し、みんなでアイデアを出し合いながら進めることができます。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

市役所の仕事は「受け身」というイメージを持っている方がいるかもしれません、実は能動的な姿勢がかなり大切です。特に建設系は自分から提案して物事を進めていく必要があります。技術職は、一緒に働いている事務職の職員に頼りにされることも多く、自分の考えが形になっていく面白さとやりがいのある仕事です。



経歴

2013年4月～ 環境局 施設部 五条川工場 焼却炉整備係
2016年4月～ 環境局 施設部 工場課 工場管理係
2017年4月～ 環境局 施設部 工場課 計画係



環境局施設部富田工場整備係 技師

藤井 悠太

稼働を止めないという強い使命感のもと 地域の環境を守る

●現在の仕事について教えてください。

ごみ焼却施設である富田工場は、地域の環境を守るためになくてはならない施設です。

私は、設備の整備業務を担当しており、日々の点検で見つけた不具合の復旧作業のほか、定期的なメンテナンスのための整備工事や点検業務の設計・監督などが主な業務です。ごみ焼却施設には、ごみを受入・貯蔵しておく設備、ごみを燃やす設備、ごみを焼却した際に発生する有害物質を除去する設備など多種多様な設備があり、必要な知識は多岐に渡ります。また、基本的に24時間稼働しているため、突然的なトラブルが発生した時にはスピード重視の対応が求められます。日々、新しいことを学ぼうとする心構えと、「稼働を止めてはいけない」という強い使命感を持って業務に取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

2020年6月に設備更新を終え大幅にリニューアルされた工場を、職員一人ひとりがもっと良くしていこうと同じ方向を向いて業務に取り組んでいます。富田工場は、若手とベテランのバランスも良く、上司や先輩に支えられながら楽しく仕事をしています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

入庁してから現在担当している業務のほかに、事業者との折衝・調整から新規事業の準備までいろいろな仕事を経験してきました。大学で学んだことを活かしつつ、自分の可能性を広げたいと思っている方に向いている職場だと思います。



経歴

2014年4月～ 環境局 施設部 工場課 工場管理係
2016年4月～ 環境局 施設部 猪子石工場 整備係
2017年4月～ 環境局 施設部 猪子石工場 運転第二係
2019年4月～ 環境局 施設部 工場課 計画係
2020年4月～ 環境局 施設部 富田工場 整備係



上水・下水

活躍できる主な試験区分

土木

建築

機械

電気

応用化学

○上下水道事業は、大正時代に始まり、市域の拡大や都市の発展とともに事業を拡大し、これまで100年以上にわたり、ライフラインとして市民生活や社会活動を支え、健全な水環境の創出や大雨による浸水被害から市民の生命・財産を守る取り組みを進めてきています。

○「安心・安全で安定した上下水道サービス」の提供をし続けるため、浄水場・水処理センター・ポンプ所や配水管・下水管などの上下水道施設の適切な維持管理や、南海トラフ巨大地震などの災害への備え、環境保全の取り組みなど、様々な事業に取り組んでいます。



本市初の浄水場である鍋屋上野浄水場

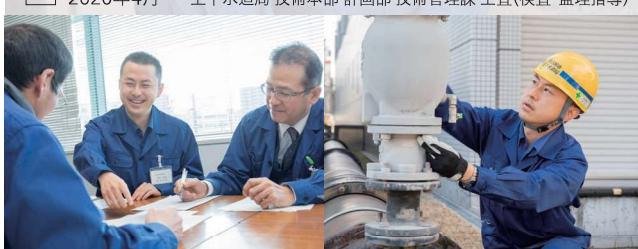


配水管の工事



経歴

2009年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 施設整備課 機械整備係
2013年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 中部山崎水処理事務所 処理第一係
2016年4月～ 上下水道局 技術本部 建設部 施設課 機械係
2017年4月～ 地方共同法人 日本下水道事業団(派遣)
2018年4月～ 上下水道局付主査 地方共同法人 日本下水道事業団(派遣)
2020年4月～ 上下水道局 技術本部 計画部 技術管理課 主査(検査・監理指導)



上下水道局技術本部計画部技術管理課 主査

向井 太志

上下水道施設の検査員
高い技術力で市民生活を支える

●現在の仕事について教えてください。

私は、検査員として、浄水場や水処理センターなどの設備工事が仕様どおりに行われたか検査しており、エアコンなどの小さな機器から巨大なポンプに関する工事まで、年間80件程度を担当しています。

印象に残っているのは、DBO方式(Design Build and Operate)を採用した空見スラッジリサイクルセンター下水汚泥燃料化事業の建設工事に検査員として携わったことです。DBOとは、民間業者に設計、施工、維持管理などを一括して委託する方式で、上下水道局で初めてのことでした。局内に経験者が誰もおらず、検査のために必要な書類の数も膨大であったため、前例のない仕事は大変でしたが非常にやりがいがありました。

●職場の雰囲気について教えてください。

職場には、土木・建築・機械・電気など様々な知識を備えた技術者がいて、意見を交わすことも多く、刺激を受ける毎日です。相談や頼み事もしやすい環境で安心して働ける職場です。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

日本下水道事業団に派遣されていた頃、名古屋市上下水道局と仕事をする機会がありました。機器の仕様や工事の施工方法に関する鋭い質問があり、外の立場から改めて名古屋市の技術力の高さを再認識しました。名古屋市には専門的な知識を備えた技術者が多数おり、学んだ知識を存分に活かして活躍できる仕事があります。



上下水道局技術本部計画部下水道計画課計画第一係 技師

滝本 直啓

水処理センターに高度処理を導入 環境保全に取り組む

●現在の仕事について教えてください。

下水道計画課計画第一係は、下水道事業の計画に関わる業務を行っています。

私は、下水の高度処理に関わる業務を担当しています。下水の高度処理とは、水環境の向上を図るために河川などの水質悪化の原因となるリンなどを普通の処理より多く取り除く処理方法です。また過去には、水質管理課や柴田水処理センターで水質分析などを担当しました。水処理センターでは、家庭や工場などから出る下水を処理し、きれいな水にして川に戻しています。水処理センターの処理の状況を水質分析により確認し、分析結果を基に運転管理を行ってきました。下水処理に関わる業務は、環境保全のために欠かせない業務であり、誇りを持って取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

上下水道局には様々な職種の職員があり、業務内容も多岐に渡ります。幅広い業務を経験することで、多くの知識と経験が得られます。また、職場には日頃から意見を言い合える雰囲気があります。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

名古屋市の技術職の魅力は、事業規模が大きく多くの市民に関わる業務ができることや、多様な業務に関わることができることができます。また、福利厚生制度によって、ワークライフバランスを大切にして働くことができるのも魅力です。



応用化学

経歴	2010年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 水質管理課 水質企画係
	2013年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 鍋屋上野浄水場 水質係
	2016年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 水質管理課 水質管理第二係
	2019年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 東部柴田水処理事務所 処理第一係
	2020年4月～ 上下水道局 技術本部 計画部 下水道計画課 計画第一係



上下水道局技術本部管路部設計第一課設計第三係 技師

山田 文希

水道管工事を設計 人々の新しい生活圏をつくる

●現在の仕事について教えてください。

設計第一課は、管網整備事業や都市計画事業などに伴って必要となる水道管工事の設計業務を行っています。

私は、さしまライブ24などの土地区画整理事業を担当しており、新しい道路やまちの機能に合わせて上下水道・ガス・電気などのインフラ事業者と調整しながら水道管を整備する工事の設計をしています。設計業務と聞くと黙々とパソコンに向かっているイメージがあるかもしれませんのが、複数の事業者や施工担当部署と工程や工法について協議するなど、人との関わりが多い仕事です。みんなで協力して大きなパズルを組み立てていくような感覚があり、何もなかった場所が人々の生活圏へと変わっていく様子を見るのはうれしく感じます。

●職場の雰囲気について教えてください。

職員の年齢が近いこともあり、和気あいあいとした雰囲気です。上司や同僚と積極的に意見を交わし、知識やアイデアを吸収しながらより良い設計になるよう努めています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

土木職員は上下水道局内にも多くの配属先があり、業務内容も多岐に渡ります。異動先によって様々な角度から上下水道事業に携わることができ、常に新しい発見があります。「命の水」と表現されることもある水道水は、人々の生活に直結するインフラ。それを支えている実感が得られる、とてもやりがいのある仕事です。



土木

経歴	2013年4月～ 上下水道局 技術本部 管路部 西部管路センター 配水工事係
	2015年4月～ 上下水道局 技術本部 管路部 西部管路センター 配水維持係
	2016年4月～ 上下水道局 経営本部 営業部 中村営業所 工事係
	2019年4月～ 上下水道局 技術本部 管路部 設計第一課 設計第三係



公共交通

活躍できる主な試験区分

土木

建築

機械

電気

○市バス・地下鉄の一体的なネットワークにより、市内全域で、安全・安心で快適な交通サービスを提供し、市民・利用者の日常生活を支える重要な役割を果たしています。

○市バスは、その機動性を活かして、きめ細かなサービスを提供しており、市内におけるバス路線の約9割を担っています。

○地下鉄は、高速で定時性を有し、大量輸送が可能な公共交通機関として、1957年11月に東山線名古屋・栄町間で営業を開始し、現在は6路線93.3kmの路線網により、市内交通の基幹的な役割を果たしています。



車体を検査する名港工場



ホームの安全性を高める可動式ホーム柵

機械



経歴
2007年4月～ 交通局 技術本部 施設車両部 施設事務所 設備第二係
2009年4月～ 交通局 技術本部 建設部 建築課 設備係
2010年1月～ 交通局 技術本部 建設部 工事事務所 建築係
2011年4月～ 交通局 技術本部 施設部 施設事務所 設備第一係
2013年4月～ 交通局 技術本部 施設部 営繕課 設備係
2017年4月～ 交通局 営業統括部 自動車部 緑営業所 整備係長
2020年4月～ 交通局 技術本部 施設部 施設事務所 設備第一係長



交通局技術本部施設部施設事務所設備第一係 係長

野呂 重理

**施設保守の最前線として
地下鉄やバスの安全運行を支える**

●現在の仕事について教えてください。

交通局は、約100の地下鉄の駅や約1,500のバス停など様々な施設を管理しており、これらの施設の付帯設備の保守・更新を行うのが施設事務所の役割です。

第一係は、主に給水・排水関係の設備を担当しており、私は、係員21名を束ねる係長として、予算管理や安全管理、作業工程の確認、係員の指導などを行っています。公共交通機関は、多くの方が利用するため、緊急時でも運行に影響が出ないよう、安全性や迅速性を重視した対応が求められます。施設保守の最前線として「自分たちが交通局を支えている」という誇りを持って業務に取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

業務中に疑問や不明点があればお互いに教え合ったり、相談したりするなど、とても良い雰囲気です。また、緊急障害の連絡があれば部署全体で一枚岩となり、係の枠を超えて対応することもあります。安全かつ迅速な対応が求められる仕事なので、日頃からチームワークを大切にしています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

公営交通で地下鉄とバスを運営している自治体は全国でも限られており、人生の中で自分の足跡を残すうえでも、名古屋市ほど良い存在はないと思います。リニア中央新幹線の開業を控えて、名古屋市は大きな転換期を迎えてています。我々と一緒に、このまちを新たなステージに導いていきましょう。



交通局技術本部車両電気部電車車両課計画係 技師

甲良 祐也

地下鉄の車両に自動運転装置を導入 安全で快適な名古屋の地下鉄をつくる

●現在の仕事について教えてください。

私の所属する電車車両課計画係では、地下鉄車両の新車の購入や老朽化した車両の装置の更新業務などを行っています。最近では平成28年度～令和2年度の5年間で、名城・名港線を走る車両全36編成の機器更新およびホーム柵対応のための改造を行いました。この事業では車両に自動列車運転装置であるATO運転機能(Automatic Train Operation)を追加しており、最新の車両は、運転士がボタンを押すと自動で発車し、次の駅で停車するようになっています。

私は、このATOの導入のために約1年間、ほぼ毎日車両の試運転を実施し、線路条件に合わせた車両の運行速度の調整や、イレギュラーな走行時のためのシステム調整などを行ってきました。2020年5月にATO運転が名城・名港線で無事にスタートしたときは、とても感慨深いものがありました。

●職場の雰囲気について教えてください。

車両に関する事業は規模が大きく、ひとりで全てを行うことはできません。職員一人ひとりが自分の仕事に責任を持ちつつ、チームワークを大切にして働いている職場だと感じます。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

公務員の技術職は、市民の方々の生活インフラを支える縁の下の力持ちのような仕事です。目に触れる機会が少ない職種ではありますが、全員がより良いまちづくりを目指して努力しています。一緒に名古屋という素晴らしいまちをつくっていきましょう。



経歴

2013年4月～	交通局 技術本部 車両電気部 名港工場 管理係
2013年5月～	交通局 技術本部 車両電気部 名港工場 修車係
2017年4月～	交通局 技術本部 車両電気部 名港工場 管理係
2019年4月～	交通局 技術本部 車両電気部 電車車両課 計画係



交通局技術本部施設部軌道事務所技術係 技師

佐々木 彩乃

検測車に乗ってレールを検査 みんなの「当たり前」を支える

●現在の仕事について教えてください。

軌道事務所技術係は、トンネルなどのコンクリート構造物や車両が走るレールなどの保守業務が主な仕事です。

私は、軌道の検査を中心に担当しており、検測車で地下鉄の路線を走り、レールに歪みなどがないか年2回検査を行っています。その他、列車の揺れの検査が年2回、レール内部の検査が年1回あり、検査したデータを保線区に送り、レールを補修してもらいます。日々、地下鉄は時刻どおりに駅に到着し、安全な走行を続けています。このような「当たり前」を支える現場があることを市役所に入って初めて知り、驚きました。今では私も縁の下の力持ちとして寄与できていることに喜びを感じています。

●職場の雰囲気について教えてください。

個々ではなく、部署全体で協力して業務に取り組んでいるため、チームワークは抜群です。軌道の職務は専門的な知識が必要になりますが、職場の風通しは良く、わからないことがあっても先輩や上司が丁寧に教えてくれるので助かっています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

名古屋市の技術職の面白さは、数年ごとに異動があり、幅広い仕事に関わることです。広い視野を持って物事に取り組み、様々な経験を積むことで、充実した豊かな人生につながると思います。



経歴

2015年4月～	交通局 技術本部 施設部 工務課 維持係
2018年4月～	交通局 技術本部 施設部 軌道事務所 技術係

